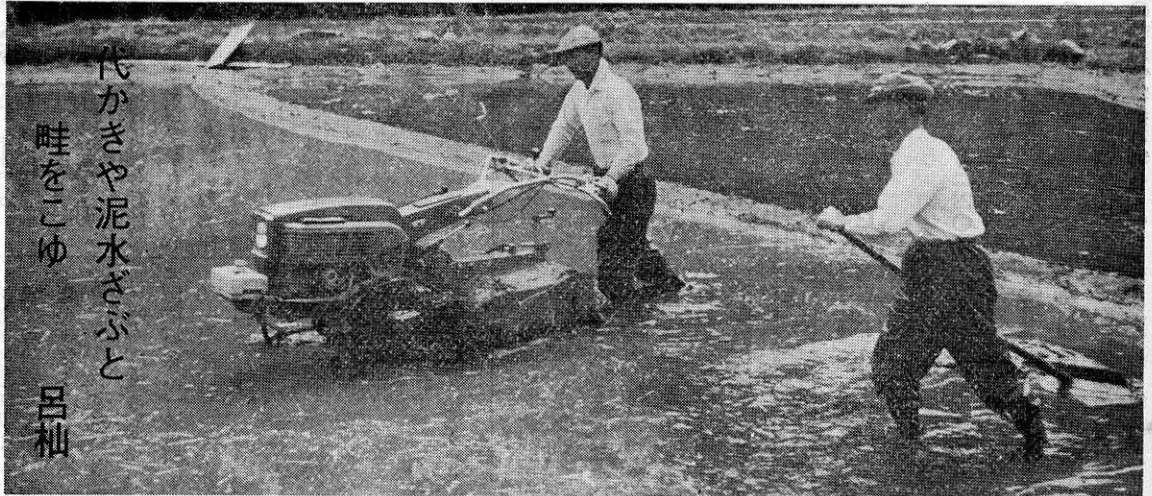


季節のはなし  
 6月のことを「みなつき」と呼びます。おおよそその農作業が終ることから「みなしつくした月」がなまつて呼ばれたともいいます。

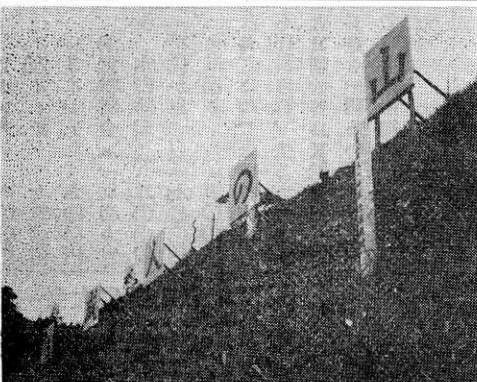
# 白川東広報

昭和41年6月1日発行

第90号  
 発行  
 岐阜県加茂郡  
 東白川村公民館  
 印刷  
 今井印刷所



代かきや泥水ざぶと  
 畦をこゆ  
 呂杣



みどり豊かな郷土をめざして今年も恒例の「成年記念植樹祭」と「村民の山植樹祭」が、さる五月三日と十四日の両日、関係者が多数出席して盛大に行なわれました。「成年記念植樹祭」が第十一回、「村民の山植樹祭」が第二回と回を重ねることにその意義が深まり、村ぐるみの行事として欠かすことのできないものになつていくようです。

成人の山植樹祭——  
 五月三日午前九時から今年成人となつた二十五名の若ものと、来賓五十余名が出席して盛大に「成年記念植樹祭」が行なわれました。役場前へ全員が集合して村長、来賓からお祝いの言葉があつたあと、代表樋口新佑君、安江悦子さんの手へ村長から成年証書と記念のアルバムが贈られました

その後、今年新しく設定した第三成人の山（神土平反之渡）へ向い、ひのき苗一千五百本を植え、よりよ

成人の山植樹祭——村民の山植樹祭——  
 「村民の山植樹祭」は五月晴れの五月十四日午前九時

盛大に終つた植樹祭——

「村民の山植樹祭」は五月晴れの五月十四日午前九時



（写真は村民の山植樹祭の  
 スナップから）  
 びあがるように、から松を併せて植林しましたが、青いひのき林の中に黄色いから松の若芽が、子供に、孫に山に生きてきた村の姿を強く印象づけることでしょう

まんじゅうが時から、昨年に引きつづいて贈られ、手づつて新渠山の現地において、村の人たち百五十名が参加の風食をすして行なわれました。

岐阜国体を契機に昨年設定された「村民の山」へ、村の公職者はもちろん一般希望者が参加して、四ヘクタールの山へひのき苗約一万五千本を植えました。村ではこの山を後世まで「村民の山」として伝えていくため、ひのきを植えた中に村民の山と大きな文字が浮く

# 合理的な賃金体制を

## 標準賃金など決まる

猫の手も……と云われる滑な労働供給や、合理的な農業期となりましたが、農賃金体制をはかるため、さ家にとつては、最近の人手きごろ、村、農協、改良組不足や物価の値あがりなど、農協青年部などの関係の影響で、労働者の確保やその待遇にも、いろいろ気を使うことが多くなつてきました。

そこで、本村では、これからの農業生産における円

▼ことしの重点事項

① 労働者は、必ず弁当を持参する。(農家の主婦

の家事労働を助けよう)

② 時間給で合理的に賃金を支払う。

③ 夕食の提供や「おしきせ」は止める。

▼標準賃金(一時間当り)

① 男は、すべての農業について 一二〇円

② 女は、茶摘み七〇円

③ 脱穀は、機械燃料を労働者持ちで 三五〇円

④ もみすりは、機械燃料を労働者持ちで

2インチ 六〇〇円

2.5インチ 七五〇円

3インチ 九〇〇円

⑤ 賃料金(一反当り)

水田耕起 一、八〇〇円

代かき 一、七〇〇円

畦廻り 五〇〇円

なお、このことは各方面から注目され、去る五月二十六日朝のNHK総合テレビジョン「明るい農村」の中

# 「可茂公衆衛生大会」を表彰

さる五月二十一日、可児町町民センターにおいて、第二回可茂公衆衛生大会が開かれ、その席上で神土小学校児童会が、保健衛生など優秀な公衆衛生活動が認められ表彰を受けました。日頃の規則正しい生活の中から、そういったことが認められたものです

# 水の事故!

みなさんは水の事故が夏になつてから起きるものかと思われているでしょうか。実際は、新聞紙上をながめてお解りのように、シーズン前にかえつて多いのです。何故かちよつと一声

「こどもを危険やますと 話かいから 冬の間 まもるため……」

寒いたかえんなめ家のさいなかばかりで遊んでい

た子供たちが外で遊ぶ

ふよう

なるから急に増えてくるのです。これからの農村の子供は、たんぼやれんげなどの野草を摘み、おたまじやくしやめだかすくいそれに蝶やとんぼとりと、町の子供から見るとうらやましいほど多くな健康的な遊びがあるわけですが、それがその反面遊ばまわつてい

うちにあやまつて川や用水あるいは溜め池などに落ち込む危険があるわけです。とくにまだ歩きだしたばかりの子は、まだ足腰が定まつていませんのでその危険が余計にあるわけです。そのほか雨が降りには、草や道はたが湿つていてすべりやすいので、川や用水わきの道を歩いていてすべり込

左むことも 良くあります。また、貯水池や防火用水などに、さくやふたがなかつたため遊んでいて落ちた例も あります



# 東白川村病院からお知らせ

## 初診料と貸与寝具

院患者は自分の寝具類を持ち込むことを禁止します。

貸与寝具

1 掛ぶとん 一 包布 三

2 敷ぶとん 一 包布 三

3 毛布 一 包布 三

4 まくら 一 包布 三

包布は一週間毎に交換す

寝具の料金(一日、負担額)

国民健康保険被保険者 一日につき一三円八〇銭

健康保険、共済組合被保険者(本人) 一日につき 無料

同被扶養者(家族) 一日につき 二二円

普通初診料の負担割合の料金を請求されます。初診料でも次のような場合には金額が加算請求されますので、なるべく時間内に診療を受けられることが、負担を軽くすることになりますから、早期に診療を受けられるよう心がけて下さい。これは当病院の規定ではなく国の規定です。

分までが時間外です。

① 深夜 二三八円

② 深夜とは午後一〇時から午前六時までをいいます

③ 乳幼児 一一四円

④ 特別疾患 八四円

⑤ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑥ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑦ 普通で乳幼児の場合 二四〇円

⑧ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑨ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

① 普通の場合 二四〇円

② 時間外の場合 二四〇円

③ 深夜の場合 二四〇円

④ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑤ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑥ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑦ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑧ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑨ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

⑩ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑪ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑫ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑬ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑭ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑮ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

陽気が良くなつて遊びざかりの子供を家の中ばかりにとじこめておくわけにはいきません。

こうした危険のあるところでは近くの人々が相談して、さくやふたをして子供が安全に遊べるような方法を考へてやりましょう。

① 時間外 三〇〇円

② 時間外とは、医療機関の掲げる診療時間以外の時間をい、当病院では午後五時から午前八時三〇

③ 深夜の場合 二四〇円

④ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑤ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑥ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑦ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑧ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑨ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

⑩ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑪ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑫ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑬ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑭ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑮ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

⑯ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑰ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑱ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑲ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑳ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

㉑ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

陽気が良くなつて遊びざかりの子供を家の中ばかりにとじこめておくわけにはいきません。

こうした危険のあるところでは近くの人々が相談して、さくやふたをして子供が安全に遊べるような方法を考へてやりましょう。

① 時間外 三〇〇円

② 時間外とは、医療機関の掲げる診療時間以外の時間をい、当病院では午後五時から午前八時三〇

③ 深夜の場合 二四〇円

④ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑤ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑥ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑦ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑧ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑨ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

⑩ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑪ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑫ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑬ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑭ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

⑮ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

⑯ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑰ 時間外で特疾の場合 二四〇円

⑱ 深夜で特疾の場合 二四〇円

⑲ 普通で特疾の場合 二四〇円

⑳ 時間外で乳幼児の場合 二四〇円

㉑ 深夜で乳幼児の場合 二四〇円

陽気が良くなつて遊びざかりの子供を家の中ばかりにとじこめておくわけにはいきません。

こうした危険のあるところでは近くの人々が相談して、さくやふたをして子供が安全に遊べるような方法を考へてやりましょう。

# 明るい家庭をつくろう

## 第3日曜日は『家庭の日』に

最近、青がいま行なわれている『青年の非行少年を守る運動』も、この化というところが大きな社会問題としてとりあげられ、全国各地で『青少年を守る運動』が展開されていますが、このような運動を展開するに、まず第一に明るい家庭環境をつくり出すことが大切です。

私たちは、ともすれば、現代のめまぐるしい経済変動に氣をうばわれ、物質面の欲望におぼれ、青少年を中心とした家庭での明るい人間関係が失われがちです。

最近、青がいま行なわれている『青年の非行少年を守る運動』も、この化というところが大きな社会問題としてとりあげられ、全国各地で『青少年を守る運動』が展開されていますが、このような運動を展開するに、まず第一に明るい家庭環境をつくり出すことが大切です。

私たちは、ともすれば、現代のめまぐるしい経済変動に氣をうばわれ、物質面の欲望におぼれ、青少年を中心とした家庭での明るい人間関係が失われがちです。

家族全員が力をだし合うことが、一つの仕事をみんなで行えるような簡単なことばかりです。毎月の三日曜日には、各々の家庭事情にあつたやり方を工夫し、「家庭の日」をより有意義にすごしましょう。

**今月の「家庭の日」**  
この日はちようど「父の日」にあたります。日頃のお父さんの働きに感謝すると共に、お父さんを中心とした楽しい家庭の集いをもちましましょう。



趣味(2) 花づくり 金尾秀之介さん

花を愛する人に悪人はいない、昔からよくいわれる言葉です。誰でもあの赤、白、青、黄、色とりどりの花を見ている時はやわらいだ氣持でいることでしょう。今月はニコニコしていられるのがトレードマークのような金尾秀之介さん(越原陸地)の「花づくり」の趣味をお訪ねしました。

柱の中に「花を愛しましよ」という運動があり、県内が花いっぱいとなりました。村の中でも国体旗リレの道路はもちろん、各家庭の周囲までサルピヤやマリンゴルドが植えられ、国体気分をいつそう盛りあげた中で金尾さんも運動の推進委員として、いろいろ活躍をされたことは、一年中花が絶えないといわれる金尾さんのお宅へうかがった時、今、穴場で花が咲いていないからといわれたけれど、どうして女関にはこのあたりでは珍らしい蘭が優雅な花を咲かせ、垣根には今年はじめ咲かせたというベコニヤの可愛

江戸時代頃から改良が重ねられ、現在約三百種の品種がある。さくらに似た可愛らしい小さな花を咲かせます。それらの品種保存、育成のために「日本さくら草会」という同好会が結成され、金尾さんは岐阜県ただ一人の会員として我子のように可愛がっていられる。この花は栽培が難しくそれだけに咲かせがいがあのだらうか、現在約二百種類があるそうです。

水やり、肥料を与え、病虫害から守り、手入れをすることが、頭の中に描いた美しい花を咲かせると同時に、つながらと話される。たしかにそのとおりだと思えます。咲いた花の中は本当に寿命の短いものがあり、一年間丹精をこめ美しい花ほど咲かせるまで目が離せません。「花の命は短くて苦しきことのみ多かりき」、たしかに金尾さんのいわれるように、夢を待たなければ花づくりはできないだろう。花にまつわけの格言、ことわざが多いのはそういつたことからかも知れません。それだけに金尾さんもうろんな苦勞語ができる仲が欲しい、そんな悩みが良くわかるようが気がします。日頃生活に追われ、味気ない生活を送っている人が多い現在、金尾さんと美しい花を咲かせる夢でも話合える人が、多くなつてこなければならぬ、そんな事を教えられた今回の訪問でした。

## よい子に本の贈物

……歯科医の熊崎さんから……

昨年、神土小学校へ『熊崎文庫』として、たくさん(一冊一五万二千円相当)の図書を寄贈された天佑館を寄贈していただきました。両校ではこのご好意に感謝するとともに、それぞれ設け、早速よい子の学習に役立てています。

ちなみに、熊崎さんはこの村の学校歯科医として、長年よい子たちの歯の治療や指導に専念していただき、お礼として、その間数回にわたる村内各学校の歯科検診施設など多大なご援助をいたしていただいております。

## 後記編集

……農繁期もいまやたけなわ、一服の時に目を通して下さる方もあると思えます。家族で批評して下さい。

……次号は今話題の農業改善事業の解説記事の特集しようとして産業建設係と編集中心です。

新年度青年団活動のスタートにあたり、青年の立場から皆さんにおねがひします。

ご存じのとおり農村各地の人口減少が深刻になつてきたこの頃、私たちの村でも直接青年活動に關係のある青年人口が、著しく減少しつゝあります。例をあげてみますと昭和四十年年度の始めは新入団者は二十四名を数え、



**張**

**青年活動に理解を**

東白川青年団長 安江啓次

建設的な面が欠けているのではないかと、今年度は新入団者といろいろ批判を受けました。

私たちがそうした批判を充分な討議によつてその解決方法を見出そうとしてい

すがあまりにも漠然としていてその言葉数が少ないだけに抵抗さえ感じます。

「この青年は一体何をしたいのだ」「現在の青年は」

「今度の活動を通じて問題になつたのは村民の皆さんから」

「今の青年は一体何をしたいのだ」「現在の青年は」

面をもつて運営しているつ等を行ないます。スポーツもりですが先輩の方から見れば幼稚に見えることもあ

くをかけていますが、男女バレー、卓球、野球等、昨年

最後の一つだけ残念なことは、こんな小さな村



私たちの活動の一部を

多くの人に観ていただくよう努力したいと思います。

**ろばた**  
**放談**

私たちは、人間である以上、少年時代を育つた土地へ限らない愛着をおぼ

このような意味からも、広報「東白川」は、各地に健在している郷土出身者に

物質文明が発達し、すべてが科学万能の世の中にあつて、一刻も休まることのない近代人にとつて

そこで毎月全戸へお配りするのでこの広報を大切に保存

おぼえるものです。

親や友人の許へふるさと

はわからない。

編集部では、この広報が

六百名あるが、そのうち二千百名は村外へ移住して

何処へとも音信を断つてい